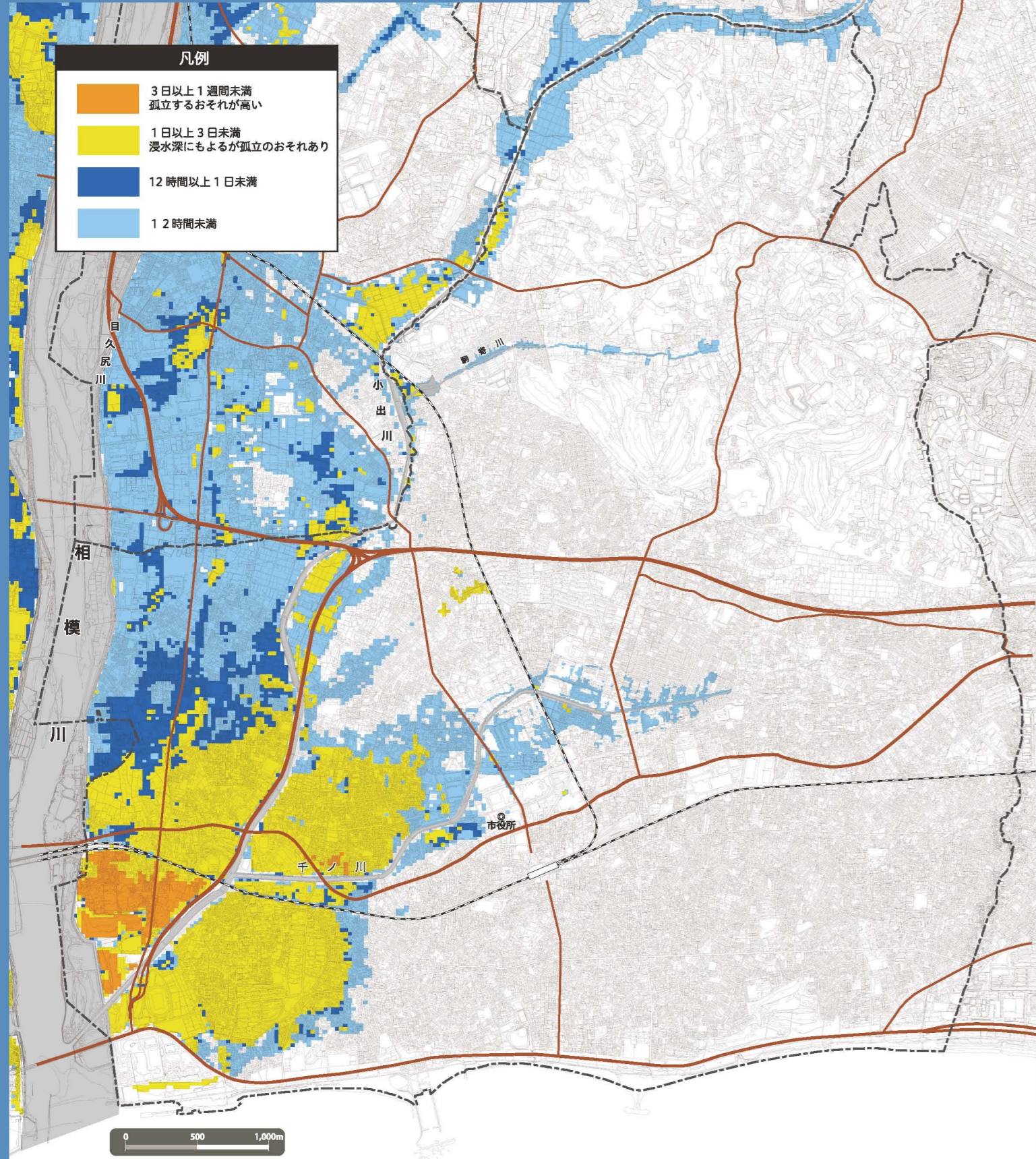


想定される浸水継続時間

はん流してから浸水深が50cm以下になるまでの浸水が継続する時間



凡例

土砂災害に関する情報

土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合に、建築物の崩壊が生じ住民の生命または身体に危険が生ずるおそれがあると認められる区域。一定の警戒行為の制限、建築物の構造規制がある。

急傾斜地の崩壊
傾斜度が30度以上ある土地が崩壊すること。いわゆる「がけ崩れ」

土石流
山腹が崩壊して生じた土石等が水と一体となって流れること。

土砂災害警戒区域
土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危険が生ずるおそれがあると認められる区域。

洪水に関する情報

急傾斜地の崩壊
土石流
家屋倒壊等氾濫想定区域 (河川浸食)

浸水深 (浸水した場合に予測される水深)

- 3.0m ~ 5.0m 未満
- 1.0m ~ 3.0m 未満
- 0.5m ~ 1.0m 未満
- 0.0m ~ 0.5m 未満

危険箇所 (地下道)

浸水の深さのイメージ

あなたと大切な人の命を守る

茅ヶ崎市洪水・土砂災害ハザードマップ

令和3年9月 改正版

資料9

洪水・土砂災害のハザードマップの使い方

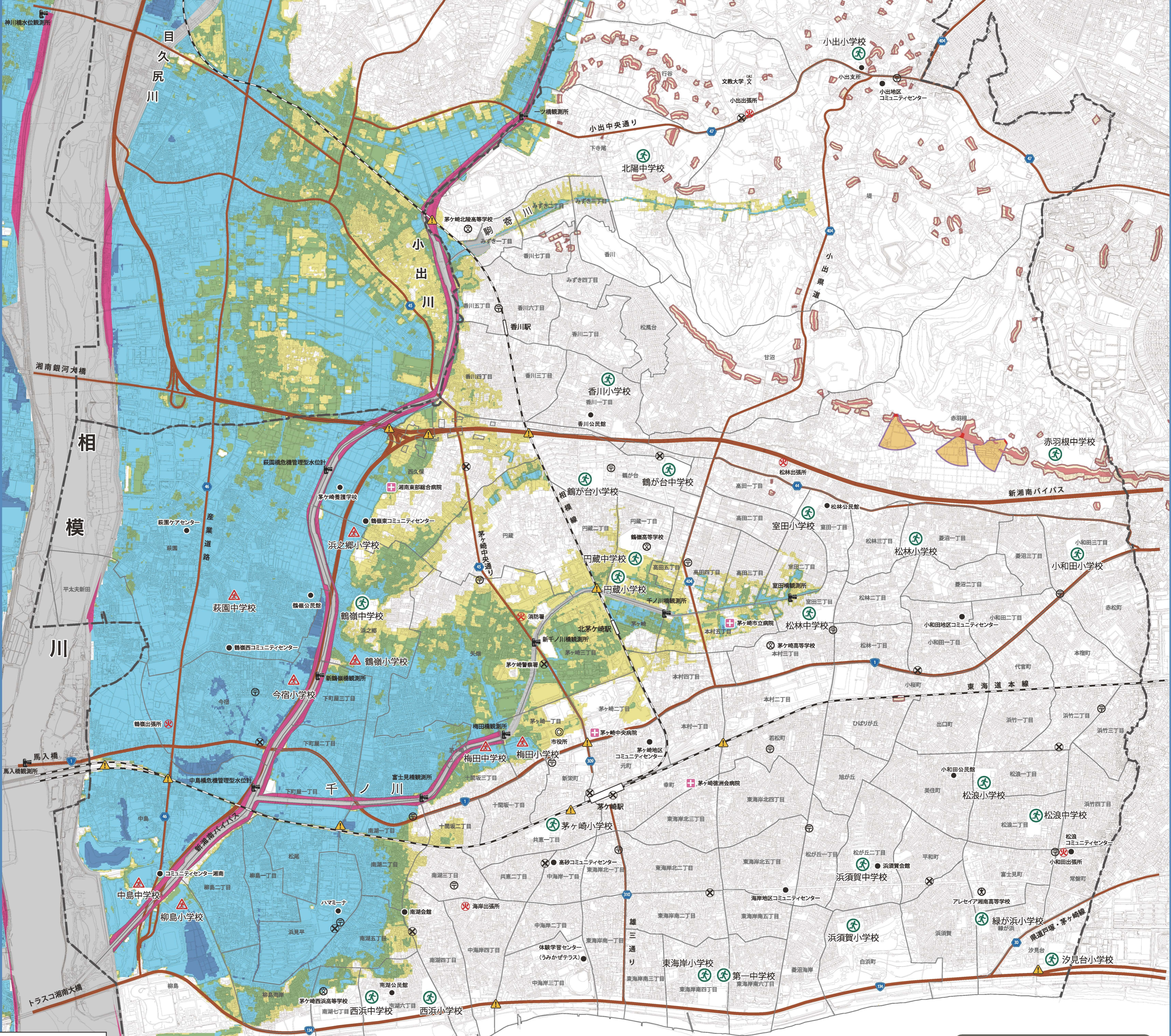
- ①自分の家や職場などの危険を確認する。
- ②洪水や土砂災害の危険がある場合は、別冊の『あなたと大切な人の命を守るガイドBOOK』を使って「かんたんマイ・タイムライン」(いつどこに避難するかあらかじめ決めて書いておくもの)をつくる。
- ③いざという時は、このハザードマップと「かんたんマイ・タイムライン」を見て、必要な行動を取る。



※雨の降り方によっては、このハザードマップに示されていない浸水や土砂災害が起きる可能性があるため、注意してください。

対象河川と前提となる想定雨量 (想定最大規模降雨)

- 相模川 567mm / 48時間
- 小出川、千ノ川、駒寄川 354mm / 24時間
- 目久尻川 398mm / 24時間



硬貨を使って避難先までの距離と移動時間(歩行)を図ってみよう。



凡例

- 避難所: 浸水により孤立するおそれ低い避難所
- 避難所: 浸水により孤立するおそれ高い避難所
- 消防署・出張所
- 警察署・交番
- 病院
- 高校
- 大学
- 郵便局
- 水位観測所

このハザードマップにおいて洪水は、以下の図等の最大値を表示したものです。
 ・相模川: 水防法に基づく浸水想定区域図 (想定最大規模降雨: 48時間総雨量 567mm、平成28年5月30日国土交通省関東整備局告示、平成29年3月31日神奈川県告示)
 ・小出川: 水防法に基づく浸水想定区域図 (想定最大規模降雨: 24時間総雨量 354mm、平成30年12月21日神奈川県告示)
 ・千ノ川 (梅田橋から下流): 水防法に基づく浸水想定区域図 (想定最大規模降雨: 24時間総雨量 354mm、平成30年12月21日神奈川県告示)
 ・千ノ川 (梅田橋から室田橋まで): 令和2年度茅ヶ崎市調査による浸水想定 (24時間総雨量 354mm)
 ・駒寄川: 令和2年度茅ヶ崎市調査による浸水想定 (24時間総雨量 354mm)
 ・目久尻川: 水防法に基づく浸水想定区域図 (想定最大規模降雨: 24時間総雨量 398mm、平成30年12月21日神奈川県告示)
 ※千ノ川の梅田橋から千ノ川橋まで及び駒寄川の千ノ川合流点からさかえまでは、河川法に基づく準用河川です。千ノ川の千ノ川橋から室田橋までは、下流施設、駒寄川のさかえはしから駒寄橋までは、水路です。このハザードマップにおいて土砂災害は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき、土石流は平成27年3月24日、急傾斜地の崩壊は令和3年2月16日に神奈川県が指定した土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を表示したものです。
 ※本ハザードマップに示している浸水想定区域・土砂災害警戒区域等は区域等の境界を省略して表示するものではなく、概略の位置を示した参考図であることを留意してください。